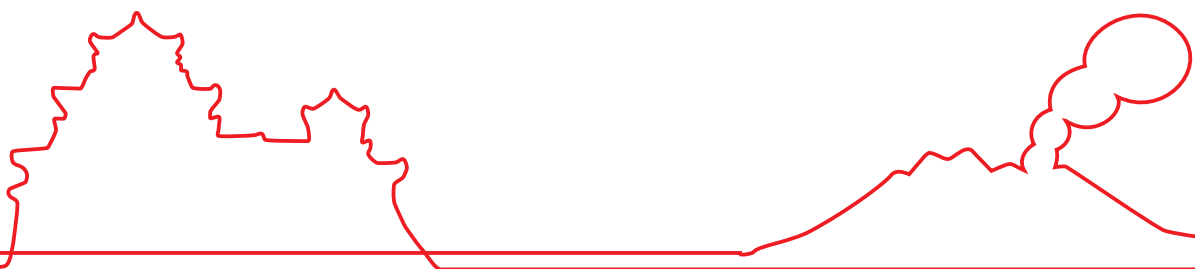


合唱団お江戸コラリアーズ 熊本演奏会



賛助出演・共催：合唱団いひゅうもん
後援：熊本県合唱連盟、山鹿市教育委員会、高橋酒造株式会社

2017年11月4日（土）
山鹿市民交流センター 文化ホール

ごあいさつ

本日は合唱団お江戸コラリアーズ熊本演奏会にご来場いただき誠に感謝申し上げます。

忘れもしないあの夜、二度も大きな揺れが襲ってくるとは誰も予想できなかったと思います。本震の時、心のなかで「ああ、終わった」と地球最後の日のような気持ちになりました。あの瞬間心の中にあった音は消え、重機やヘリコプターの機械の音が日常の音として耳に棲みつき、こびりついていきました。

言葉では、言えないくらいの辛い気持ち、がんばろうなんてそんな言えない。日々1日を精一杯のりこえる力さえもなく疲弊していました。そんな中、全国から暖かい言葉、支援物資が届き、復興支援のためにボランティアの方々も来てくださいました。そのそれぞれが私たちの身体に沁み渡り血となり肉となり声となり言葉となり生きていける活力になりました。

いひゅうもんもこの熊本地震を経験し、しばらくの間活動休止を余儀なくされました。やっと落ち着いた最初の練習日。誰もが声を出すこと歌うこと、合唱をすることを躊躇いました。しかし、歌は私たちの背中を押してくれたのです。その年は、軽井沢国際合唱フェスティバルに出ると決めており、練習場所がなかったり地震で経済的・時間的・心理的に参加できない団員もいましたが、その人たちの気持ちを請け負って軽井沢の地で皆様に感謝の気持ちを歌にのせました。

そこで出会ったのがまぎれもなく合唱団お江戸コラリアーズの方々でした。「熊本を応援したい。熊本に歌いにいきたい」その一言から繋がりました。全国を代表する合唱団が熊本のために来てくださるなんて。喜びで震え上がりました。年齢や出身大学にとらわれない雰囲気大切にしているお江戸コラリアーズ。今回は熊本に馴染みのある曲や、復興ソングを歌ってくれます。「全員が主役」その主役達の自由で平和に満ちた合唱をお楽しみください。

合唱団いひゅうもん

本日はご来場ありがとうございます。当団は東京を拠点に活動しておりますが、全国各地への演奏旅行も積極的に行っております。九州の地には2008年に宮崎、2015年に長崎と2回訪れてはおりますが、団員に東北出身者が多いことや関東という場所柄、これまではやはり東日本の各地へ赴く機会が多かったように思います。「西の方にももっと行きたいねえ」なんて話をしていた矢先、熊本地震のニュースが飛び込んできたのでした。「西の方に行きたい」は「熊本に行きたい」に変わり、そんな折、昨年夏の軽井沢での合唱イベントの飲み会で空席に座ったところ周りにいらっしゃったのが合唱団いひゅうもんの皆さまだったのです。(何という偶然！) その縁から今回の熊本演奏旅行が実現いたしました。演奏会の開催にあたり合唱団いひゅうもんの皆さまには多大なるご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

「全国各地への演奏旅行を積極的に～」と先に書きましたが、これまでの東京以外での演奏は、コンクール全国大会であったり、〇△合唱祭への招待演奏であったり、現地の合唱団の演奏会への賛助出演などがほとんどで、今回のような団名を冠した演奏会は初のこととなります。本日の演奏のほか、昨日と明日にも演奏の機会をいただいておりますが、3日連続で様々な場所で演奏させていただくのも初めての体験です。当団では東京以外で演奏の際、できるだけ現地の方々と一緒に歌える機会を持てるよう努めてきました。今回は賛助していただくいひゅうもんさんとの合同演奏以外に、練習を一緒に体験していただくワークショップという貴重な機会もいただきました。これもまた初めての経験です。このような初体験尽くしをここ熊本の地で行えること、また、みなさまと同じ時間を共有できることを大変嬉しく思います。

本日の演奏会では、世界の様々な曲、ご当地熊本に関連した曲、さらに当団が10年以上に渡り注力して取り上げてきました信長貴富先生の作品を演奏いたします。特に本日演奏いたします信長先生の作品は、東日本大震災を受けて生まれた曲であったり、震災後の復興祈念等で歌われてきた曲となり、当団も東北の地で度々演奏してまいりました。これらの曲をこの熊本の地で演奏する機会を得られたことに感謝するとともに、演奏を通してみなさまに元気をお届けすることができたら、それに勝る喜びはありません。

本日は短い時間ではございますが、最後までごゆっくりお楽しみください。

合唱団お江戸コラリアーズ



本日のプログラム

合唱団お江戸コラリアーズ

指揮：山脇 卓也 ピアノ：須永 真美 打楽器：村田 雅之

- 東京ブギウギ ◇ 作詞：鈴木 勝 作曲：服部 良一 編曲：宇田川 安明
- Stars ◇ 作詩：Sara Teasdale 作曲：Ēriks Ešēnvalds
- Huszt ◇ 作曲：Kodály Zoltán
- あんたがたどこさ ◇ わらべうた 編曲：信長 貴富
- くまモンの応援歌 ◇ 作詞・作曲：森田 花央里
- Baba Yetu ◇ 訳詞：Chris Kiagiri 作曲：Christopher Tin 編曲：Derek Machan

合唱団いひゅうもん

指揮：藤木 駿

- Ned i vester soli glader ◇ ノルウェー民謡 編曲：Grete Pedersen
- Nerea izango zen ◇ 作曲：Javier Busto
- I SING BECAUSE... ◇ 作詩：Nils Polydouri 作曲：Will Todd
- さびしいカシの木 ◇ 作詩：やなせ たかし 作曲：木下 牧子
- わが抒情詩 ◇ 作詩：草野 心平 作曲：千原 英喜
- 湯かむり唄 ◇ 作曲：松下耕

合唱団お江戸コラリアーズ

指揮：山脇 卓也 ピアノ：須永 真美

- こころよ うたえ ◇ 作詞：一倉 宏 作曲：信長 貴富
- 夜明けから日暮れまで ◇ 作詞：和合 亮一 作曲：信長 貴富
- 群青 ◇ 作曲：小田 美樹 編曲：信長 貴富
- くちびるに歌を ◇ 作詩：Cäsar Fleischlen 訳詩・作曲：信長 貴富

合同演奏

指揮：藤木 駿 & 山脇 卓也 ピアノ：大塚 正子 & 須永 真美

- 信じる ◇ 作詞：谷川 俊太郎 作曲：松下耕
- ふるさと ◇ 作詞：小山 薫堂 作曲：youth case 編曲：桜田 直子

全体合唱

- 今、ここに ◇ 作詞：伊藤 玲子 作曲：松下耕



プログラムノーツ

♪ 東京ブギウギ — 作詞：鈴木 勝 作曲：服部 良一 編曲：宇田川 安明

まだ進駐軍がいた頃の1947年、笠置シズ子の歌で発表された歌謡曲で、社会現象ともいえる大ヒットした曲です。ブギのリズムで歌われ、まさに心ウキウキ・ズキズキ・ワクワクとさせてくれる曲で、多くの歌手によってカバーされていますので、誰もが知っているのではないのでしょうか。おえコラでは、お江戸=東京 ということで名刺代わりに演奏することが多く、今日もこの曲からスタートです！

♪ Stars — 作詩：Sara Teasdale 作曲：Ēriks Ešenvalds

ラトヴィアの若手作曲家、Ešenvalds の作品で、世界中で広く歌われ、日本でも多くの団体に演奏されている曲です。グラスハーブの幻想的な響きの中、星空の冷たい空間、満天の星の美しさ、天上の無限の広がり、合唱が6声部の和音とメロディーで表現します。

♪ Huszt — 作曲：Kodály Zoltán

ハンガリーの大作曲家 Kodály による合唱曲の中でも特に有名な曲のうちの1曲です。フスト城を題材にした詩で、作曲当時の男声合唱のスタイルを打開することを望んでいたコダーイに強い靈感を与えました。効果的に使用されている、Solo と Tutti、Chorus と Unison の対比や、独特かつ緻密な和声をお楽しみください。

♪ あんたがたどこさ — わらべうた 編曲：信長 貴富

ご当地熊本県の熊本市船場地区を舞台としたわらべうたで、古くは女の子の手毬歌として歌われました。本日演奏の編曲は信長貴富によるもので、無伴奏女声（同声）合唱のための「7つのこども歌」に収録されています。ユニゾンから始まりますが、曲が進むにつれ登場する頻繁な転調やテンポの変化により、歌のもつ素朴な味わいはそのままに、合唱作品として立体的な造形を生むことに成功しています。

♪ くまモンの応援歌 — 作詞・作曲：森田 花央里

九州出身の新進気鋭の作曲家森田花央里が作詞作曲を手掛けた、くまモンの曲です。熊本地震の影響で休館していた熊本県立劇場再開後の初イベントとなった2016年8月の熊本県芸術文化祭で初演されました。こどもたちが大人になって熊本を離れてもくまモンは待っている、疲れて泣きたくなくなる時にも思い出してもらえる歌になるようにとの願いが込められています。3曲構成の児童合唱組曲「くまモン」の中の1曲ですが、作者者了解のもと、本日は男声合唱で演奏いたします。

♪ Baba Yetu — 訳詞：Chris Kiagiri 作曲：Christopher Tin 編曲：Derek Machan

アメリカの作曲家 Christopher Tin によってゲーム「Sid Meier's Civilization IV」のオープニングソングとして作曲され、2011年にゲーム音楽として史上初めてグラミー賞を受賞した曲です。本日は男声合唱とピアノ、打楽器のアレンジでお届けします。「Baba Yetu」とはスワヒリ語で「わたしたちの父」を意味し、主の祈りのスワヒリ語訳がテキストとなっております。

♪ Ned i vester soli glader — ノルウェー民謡 編曲：Grete Pedersen

太陽が西に沈んでいくという邦題の曲で、西ノルウェー民謡の一つです。今日の日を感謝し、今夜の平安を与えてくださいと父なる神に祈っている歌であります。食べることや洋服を着ること、働くことが出来る力と喜びに私たち日々感謝し、私たちが死を迎えるとき、星の橋に導き、渡らせてくださいと歌っている曲です。

♪ Nerea izango zen — 作曲：Javier Busto

1957年にジョシェアン・アルツェ (Joxean Artze) によって作詞されたバスク語の有名な詩です。持ち主は鳥を放すかどうかという精神葛藤に逡巡しています。スペインの独裁時代において造られたので、独裁からの解放を象徴しているのではないかと考えられます。その有名な詩に、プストが美しい曲を作りました。

♪ I SING BECAUSE... — 作詩：Nils Polydouri 作曲：Will Todd

イギリス生まれの作曲家、ウィル・トッド (Will Todd) の曲です。ジャジーなピアノが特徴的で、美しい旋律の中に聞いている方は引き込まれていきます。曲の内容は、愛の歌です。私の元から死んでいなくなりました。しかし、私は歌う。あなたがかつて私を愛してくれたから…。

♪ さびしいカシの木 — 作詩：やなせ たかし 作曲：木下 牧子

もともとピアノ伴奏つき合唱曲、あるいは歌曲として普及していた曲ですが、合唱に縁がない人にも純粋に聞いて楽しんでほしいという作曲家の意図からアカペラ版が書き下ろされました。詩はアンパンマンでも有名な、やなせたかしさん。山の上の一本のカシの木が主人公で、雲や風と会話するような内容があり、そのシンプルな歌詞から孤独をも汲み取ることが出来ます。



♪ わが抒情詩 — 作詩：草野 心平 作曲：千原 英喜

コスミックエレジーという宇宙を歌う曲集の一曲です。カエルの詩が多い草野心平ですが、現実世界と宇宙を書いた詩も、心平らしさであります。この曲の詩は、戦後間もない都市の焼け野原の風景であろう。現代社会の先行きの見えない閉塞感と孤独の中にいる私たちの姿を歌っています。この曲を作曲家・千原英喜はちょっぴり寂しいブルース風に作曲されています。

♪ 湯かむり唄 — 作曲：松下耕

温泉大国・日本の中で、鳥取県岩美町にある岩井温泉に江戸時代から伝わる独特な風習で、頭に手拭いをのせ、柄杓で湯を叩きながら歌うリズムカルな曲です。海洋民的な符点的のリズムが、水のある場所という点で共通する、温泉の民謡に現れていることも注目です。山鹿市は温泉が有名ですので、みなさんもこの演奏会を聞いた後には、山鹿・植木の温泉に癒されてはどうか。

♪ ころろよ うたえ — 作詞：一倉 宏 作曲：信長 貴富

2011年に福島県の4つの高校合唱団のために混声合唱曲として作られましたが、東日本大震災のため演奏会が開催できなかったことを受け、同年5月に開催された京都府合唱祭に4団が招待され初演された曲です。「歌う」という行為に駆り立てられる衝動、心の動きを、熱く痛切に歌います。なお、男声版は2013年におえコラが岩手県にて初演いたしました。

♪ 夜明けから日暮れまで — 作詞：和合 亮一 作曲：信長 貴富

福島で毎年3月に行われている「声楽アンサンブルコンテスト全国大会」、東日本大震災から1年後の大会再開時、再開を記念しテーマ曲として委嘱され初演されました。詩には鎮魂と再生への祈りが込められており、懐かしい人々の顔をよみがえらせ、前へと進む力をあたえてくれる曲です。

♪ 群青 — 作詞：福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生（構成・小田 美樹） 作曲：小田 美樹 編曲：信長 貴富

東日本大震災で大きな被害を受けた当時中学1年生だった生徒たちが離れ離れになった友人たちを想い綴った言葉を元とし、音楽教諭の小田美樹が構成・作曲し、2013年に卒業式の歌として歌われました。同月の「Harmony for JAPAN 2013」ハーモニーコンサートでも同校合唱部により歌われ大反響を呼び、信長貴富編曲により全国で広く歌われるようになりました。故郷への想い、友への想い、再会への願い、強いメッセージを持った希望の歌です。本日は今年誕生したばかりの男声版を演奏いたします。

♪ くちびるに歌を — 作詩：Cäsar Flaischlen 訳詩・作曲：信長 貴富

ドイツ語詩と日本語訳詩から成る同名組曲の終曲で、2005年に男声版が初演されて以来、2007年に混声版、2011年に女声版も初演され、多くの団で広く歌われています。ドイツ語と日本語が交互に行き交う中、「歌を持って」「言葉を持って」と幾度も語りかけます。嵐が吹こうとも吹雪がこようとも…。おえコラからの強いメッセージ、どうぞお聴きください。

♪ 信じる — 作詞：谷川 俊太郎 作曲：松下耕

2004年のNHK全国合唱音楽コンクール中学校の部の課題曲として作られた曲です。その後、混声四部版、男声版も作られました。自分（わたし）、他人（あなた）、そして世界へと広がっていく「信じる」ことを壮大に表現されています。この世界には様々な悲しく暗い出来事がありふれており、問題も山積み、未来を「信じる」ことは難しくなっているかもしれません。しかし、信じることに理由はいらない、何かを信じてみたくなる、前向きにさせる力を持った曲です。

♪ ふるさと — 作詞：小山 薫堂 作曲：youth case 編曲：桜田 直子

2010年のNHK紅白歌合戦のために作られた曲で、アイドルグループの嵐が出場歌手と共に合唱しました。以降2011年～2014年、2016年の紅白歌合戦でも歌われています。2013年にはNHK全国合唱音楽コンクール小学校の部課題曲になり、本日はこの課題曲バージョンで演奏いたします。作詞の小山薫堂は熊本出身であり、昨年の熊本地震被災者へ向けた嵐出演の応援メッセージCMでも本曲が使われていたため、ご存じの方も多いかと思います。心の中にある大切なふるさとを想いながらお聴きください。

♪ 今、ここに — 作詞：伊藤 玲子 作曲：松下耕

東日本大震災のあと被災地に義援金を送るために立ち上げられた「Sing for Japan」に松下耕より提供された、信頼しあえる友と共に合唱ができる喜びを歌った曲です。「今、ここにいて、今、ここで歌うことができる。」という当たり前の喜びを今一度かみしめて、皆さまと共に歌います。



団体紹介



合唱団いひゅうもん

だいたい、合唱してるひとつで変わってるでしょ？という理由で熊本弁の変わり者の意をもつ「いひゅうもん」と名付けました。練習中のかすかな独り言を拾いその人の感性を共有して味わい、楽しんでいる。変わってるでしょ？年齢も、出身も学校もバラバラでしがらみのない合唱団。認め合う合唱を基本としながら、型にはめない活動を目指し、県外に出での演奏も多い。軽井沢国際合唱フェスティバルや、コロフェスタ IN 日田、昨年は、Harmony for JAPAN に熊本代表として出演。選曲にもこだわり馴染みのない海外の民謡や宗教曲を歌うのも特徴。

お客様が驚いたり「なにこれ？」と反応する顔が好きで毎回どう表現するか追及しています。笑って歌って吞んで笑ってまた歌う。みんな違ってみんなかわりもん。おやおや、あなたもいひゅうもんのようなのですね。そんな貴方を私たちはお待ちしております (^-^)

Soprano 明野 ひかり 奥畑 由茄里 兼瀬 鈴菜 木村 月 佐藤 千尋 正代 敦子 増田 莉菜
元田 莉沙

Alt 有村 早耶香 大塚 正子 岡田 晴菜 草野 恋奈 小城 乃野華 西瑠 美菜 橋本 亜依
森下 亜美 森山 里穂 山口 まりあ 山本 樺恋

Tenor 金戸 光里 師藤 孝行 田中 詩乃 野田 のぞみ 林田 泉 福岡 呂億 村井 海斗

Bass 窪田 弘毅 福田 晃大 藤木 駿 西川 弘樹 宮崎 恭介



Photo by A.Yamaguchi

合唱団お江戸コラリアーズ

1998年4月、転勤のため東京へ越してきた「なにわコラリアーズ」のメンバーとその仲間たちにより設立。音楽監督の伊東恵司氏の「関西がナニワやから、東京はお江戸でしょ」の一言から「お江戸コラリアーズ」（「ず」は平仮名）と名乗ることになる。20代～30代世代を中心に、下は10代から上は70代まで幅広い団員で構成され、「全員が主役」をモットーに男声合唱の新たな響きとスタイルの獲得を目指し、毎週土曜夜に「楽しく歌い、飲み、騒ぐ」活動を精力的に続けている。スタンダードな合唱曲から海外の珍しい曲や新しい作品まで幅広く取り上げ、新作の委嘱初演活動にも積極的に取り組んでいる。昨年までに全日本合唱コンクール全国大会へ8

年連続出場、部門1位にあたる文部科学大臣賞を4回受賞。

Top Tenor 浅井 淳子 石黒 貴志 宇田 文顕 加藤 翼 小林 亮 斎藤 充昭 杉田 智紀 須永 紀彦
高松 宏弥 中村 優汰 服部 純也 濱沖 肯志郎 平野 隆久 福田 貴之 森田 聖史
山根 武夫 山脇 卓也

Second Tenor 相沢 祐太朗 熱田 真久 伊藤 貞陽 伊藤 徳和 小沼 達也 鎌田 優樹 郡司 佳依
坂巻 賢一 竹村 知洋 田中 博章 長野 啓太 濱田 和哉 藤森 宏明 保坂 朋輝
渡部 秀文

Baritone 安藤 和馬 岡部 優 金子 剛史 吉川 和美 工藤 歩 河野 龍也 齋藤 和樹 東木 圭一郎
野中 聡洋 松本 誠一 満田 洋光 山本 由幸

Bass 青木 太佑 滝ヶ平 真也 中川 航平 西谷 和起 原 脩 樋口 卓哉 松本 紘幸 村田 雅之

いい米、いい水、いい人で。

高橋酒造株式会社

創業明治三十三年

2017.11.04
Choir Ihyumon
Choir Oedo Choraliers
